



病院長

野崎 秀一(のざき しゅういち)



— 当院の理念 — 安全・安心・信頼の医療

病院長ご挨拶

あけましておめでとうございます。

日頃より当院を利用いただきありがとうございます。

新年に当たりまして、改めて当院の紹介をさせていただきます。

当院は、内科、整形外科の外来診療、そして慢性期入院医療、さらにCTを含め各種検査やリハビリテーション医療を行なっております。外来診療では、内科外来では内科全般にわたり

診療しておりますが、特に、常勤医師及び非常勤医師とも循環器疾患、高血圧、老年病の専門家が多く外来診療に当たっております。整形外科は、大阪大医学部からの応援の非常勤医師を主体に診療をしております。一方、入院医療は、療養型病院として機能しており、脳卒中や肺炎などの急性期の疾患が回復しても、なお、継続的な治療を要する方、例えば、嚥下障害が残り経口摂取困難になったり、喀痰吸引を持続的に必要とするような方の長期的な入院治療を行っております。多くは、急性期病院からの紹介により患者さまに入院していただいております。

このたび、患者さまの利便性を考慮し、整形外科外来を充実させました。裏面の表をご覧いただければと思いますが、平日並びに土曜日の午前中に毎日診療を行っております。また、本年1月より、リハビリテーション科の強化目的で理学療法士(PT)を1名増員いたしました。関節疾患等整形外科疾患でお悩みの方にお役に立てるものと考えておりますし、入院患者さまのADL(日常生活動作)の維持・改善に役立つものと思っております。

当院の理念にありますように、安全・安心の医療をおこなうのはもちろんのこと、患者さま、ご家族の皆様に十分病状を説明し信頼関係のうえで治療をすすめていくことを病院の方針としております。これからも地域貢献できるよう努力していきますので、今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

健康一口メモ

ヒートショックに注意



寒い季節にウイルス感染とともに、もう一つ警戒しないといけないのが、心血管病です。特に心筋梗塞による突然死は、11月から3月頃にかけての寒い季節に増えます。心筋梗塞は、心臓の血管(冠動脈)が閉塞することで起こり、心臓の機能が低下し、心不全や重度の不整脈が発生することで突然死をきたす原因となります。心筋梗塞が冬期に多い理由のひとつとして寒さはもちろんですが、暖かい場所から寒い部屋や屋外に移動する際、或いはその逆の場合などの温度変化による血圧の急激な変化が心筋梗塞の一因とも言われています(ヒートショック)。特に入浴時に心停止が多いことが知られています。ぜひ、心筋梗塞を予防するために冬場は脱衣室と浴室を暖かくし、お風呂の温度は38~40度と低めに設定し、短めの入浴にすることが大切です。入浴前後にコップ一杯の水分を補給することも推奨されています。また、高齢者や心臓病の方が入浴中は、家族が声をかけることも必要かもしれません。(野崎秀一)

整形外科外来診療日変更及び新理学療法士のお知らせ

リハビリテーション科より



新年あけましておめでとうございます。

2025年も、患者さまお一人おひとりに寄り添い、安心してご利用いただけるリハビリテーションを提供してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

当院のリハビリテーション科では、患者さまの身体機能の向上や生活の質の改善を目指し、専門的なサポートを行っております。

近年、健康に関する情報はインターネットやスマートフォンを通じて簡単に手に入るようになりましたが、これらの情報がご自身の状態に適しているとは限りません。

「スマホで紹介されている運動を試してみたが効果がなかった」「健康のために歩きたいが痛みがある、どう改善すればわからない」といったご相談を多くいただいていることがあります。

理学療法士は、現在の身体の状態を的確に評価し、その方に最適なリハビリテーションを提供することができます。痛みやしびれなどでお困りの方は、整形外科の診療時にぜひリハビリについてご相談ください。

村田 友彦(むらた ともひこ)

新しい一年が皆さまにとって健康で充実した年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



曾我部 拓磨(そがべ たくま)



入職いたしました 理学療法士の
曾我部と申します。
患者さまお一人おひとりのニーズに
お応えし、患者さまにいつも寄り添える
人を目指して楽しくリハビリをご提供でき
るよう頑張っていきたいと考えております。
本年よりどうぞよろしくお願ひいたします。



箕面中央病院 外来診療日

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	休
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	休	休	休	休	休	休